

平成28年度  
**事業報告書**  
 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(1) 農作物共済関係  
 (引 受)

区分		項目	組 合 員 数	引 受 面 積	特 定 農 作 物 共 済 限 度 額	引 受 収 量	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金 (A)	交 付 金 (B)	手 持 共 済 掛 金 (A) + (B)
			人	a	円	kg	円	円	円	円
水		稲	9,893	725,511		23,306,979	3,908,074,095	3,839,162	1,987,541	5,826,703
陸		稲								
麦	一筆	28年産	183	91,980		1,894,768	74,794,030	1,345,157	369,166	1,714,323
		29年産	161	84,225		1,885,708	83,406,858	1,479,199	405,865	1,885,064
	災害収入	28年産	5	7,428	30,817,925		30,817,925	715,852	204,784	920,636
		29年産	13	13,755	59,483,619		59,483,619	1,335,586	381,962	1,717,548
	小 計			174	97,980	59,483,619	1,885,708	142,890,477	2,814,785	787,827
合計 (麦 28 年産除く)			10,067	823,491	59,483,619	25,192,687	4,050,964,572	6,653,947	2,775,368	9,429,315

※麦については、戸別所得補償参加者の単位当たり共済金額の選択確認のため、翌年度に引受変更が生じる場合があるので、引受実績は確定したものではない  
 (最終引受実績は、翌年度総代会資料に記載する)。

(引受概要)

水稲については、水田農業再生協議会との一体化と当然加入制の認識により725,511a (前年比-8,817a)であった。

陸稲は対象耕作者無し、麦類については、経営所得安定対策と連携し97,980a (前年比-1,428a)であった。

## (被害)

区分		項目	被害組合員数	被害面積	共済減収量	共済金	共済金額
水稲			99 <sup>人</sup>	1,912.6 <sup>a</sup>	14,662 <sup>kg</sup>	2,061,176 <sup>円</sup>	0.1 <sup>%</sup>
陸稲							
麦	一筆		25	2,173.2	11,141	385,302	0.5
	災害収入						
合計			124	4,085.8	25,803	2,446,478	

## (被害及び評価概況)

水稲については8月下旬に台風9号が上陸し冠水害が発生。続けて上陸した他の台風により管内全域に風水害が発生し穂発芽も見られた。山間地域ではいもち病や猪による獣害が発生した。

小麦について1月18日の大雪、5月の降雨の影響により管内全域に土壤湿潤害が発生した。

## (支払)

区分		項目	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源				実支払共済金	
					保険金	手持掛金額	法定積立金額	特別積立金額	その他	
水稲			12月21日から 12月22日まで	2,061,176 <sup>円</sup>	520,235 <sup>円</sup>	1,540,941 <sup>円</sup>				100.0 <sup>%</sup>
陸稲			月 日から 月 日まで							
麦	一筆		9月21日から 9月21日まで	385,302	77,060	308,242				100.0
	災害収入		月 日から 月 日まで							
合計				2,446,478	597,295	1,849,183	0	0	0	100.0

## (損害防止)

共済事故の予防、防除について指導及び実施の状況等を記載する（費用関係は損益計算書明細にゆずる。）。

水稲種子消毒：本支所事務所において温湯消毒の実施や機械の貸出及びテクリードCの無償配布。

麦種子消毒にベンレートT、赤カビ病防除にトップジンMを無償配布。

## (2) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	組合 員数	有資格 頭数	事業計画 頭数①	引受頭数 ②	②	共済金額	徴収 共済掛金	連 合 会 納 入		交付金	手持共済掛金	
					①			保険料	技術料		(甲)	(乙)
乳牛の雌等	58	4,740	3,380	3,452	102	391,860,000	36,385,141	735,629	27,054,390	206,176	8,595,122	
胎 児			1,170	1,141								
肉用牛等	11	2,420	692	774	112	92,680,000	2,180,138	651,129	821,414	0	707,595	
胎 児			85	75								
一 般 馬												
種 豚		1,800	20									
肉 豚		14,500	200									
合計	69	23,460	4,292	4,226	99	484,540,000	38,565,279	1,386,758	27,875,804	206,176	9,302,717	0

(引受概要)

酪農経営に適した引受方式、付保割合別の掛金を提示し、特に乳牛の仔牛・胎児のセット加入を推進。又、危険段階別掛金率の趣旨を説明し家畜診療所の協力の基、戸別推進に努めた。

## (事故)

区分	項目	被害組合員数	死 廃 事 故			病 傷 事 故		
			頭 数			支払共済金	件 数	支払共済金
			死 亡	廃 用	計			
乳牛の雌等	胎児	人 57	頭 83	頭 169	頭 319	円 36,203,447	件 2,722	円 34,766,232
肉用牛等	胎児	9	4	8	15	1,720,745	106	1,026,326
一般馬								
種豚								
肉豚								
合計		66	87	177	334	37,924,192	2,828	35,792,558

## (被害概況)

生殖器病、泌尿器病、消化器病等の事故により共済金を支払う。

## (損害防止)

区分	項目	実施種目	対象頭数 又は、回数	経費概算	摘 要
特定損害防止			頭(回)	円	
一般損害防止		ハエラップ	2,999	432,000	平成28年4月～6月、引受時に配付

(3) 果樹共済（なし）関係  
（引 受）

年産	果樹共済再保険区分		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)－(B)
	区 分	果樹区分							
28	半相殺減収 総合短縮方式	半相殺減収 総合短縮方式	人 74	a 1,608.2	kg 332,879	円 66,463,000	円 1,094,211	円 814,546	円 279,665
	樹園地単位 減収総合短縮方式	樹園地単位 減収総合短縮方式	10	421.1	93,109	17,357,000	106,096	65,872	40,224
29	半相殺減収 総合短縮方式	半相殺減収 総合短縮方式	68	1,494.5	314,675	63,447,000	1,010,234	746,724	263,510
	樹園地単位 減収総合短縮方式	樹園地単位 減収総合短縮方式	10	414.1	95,808	18,177,000	108,200	67,822	40,378
	合 計		78	1,908.6	410,483	81,624,000	1,118,434	814,546	303,888

(引受概要)

高齢化、後継者不足等厳しい状況の中、果樹共済支部長推進会議を開催し引受の協力を頂き、職員推進を行うが1,908.6 a（28年産対比－120.7 a）と減少した。

(被害)

果樹共済再保険区分		被害組合員数	3割・4割超過 被害面積	認定減収量	共済金	共済金
区分	果樹区分					共済金額
		人	a	kg	円	%
半相殺減収総合短縮方式	半相殺減収総合短縮方式	6	76.8	6,618	472,838	0.7
樹園地単位減収総合短縮方式	樹園地単位減収総合短縮方式					
合計		6	76.8	6,618	472,838	0.6

(被害及び評価概況)

7月下旬より桶川市で獣害(アライグマ)による食害が発生し減収。また、8月上旬より東松山市で虫害(シンクイ)が発生し減収した。

(支払)

果樹共済再保険区分		支払月日	実 共 支 済 払 金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 共 済 金
区分	果樹区分			保 険 金	手 持 掛 金 額	法 定 積 立 金 額	特 別 積 立 金 額	そ の 他	共済金
			円	円	円	円	円	円	%
半相殺減収総合短縮方式	半相殺減収総合短縮方式	12月21日	472,838	330,986	141,852				100.0
樹園地単位減収総合短縮方式	樹園地単位減収総合短縮方式								
合計			472,838	330,986	141,852	0	0	0	100.0

(損害防止)

防除基準に則り徹底防除を推進し、バッチレート塗布剤を配布、剪定に欠かせない誘引ロープを配布する(費用関係は損益計算書明細にゆずる。)

果樹共済（ぶどう）関係  
（引 受）

年産	果樹共済再保険区分		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A)－(B)
	区 分	果樹区分							
28	半相殺減収 総合短縮方式	半相殺減収 総合短縮方式	人 12	a 206.5	kg 17,560	円 11,534,000	円 97,748	円 76,468	円 21,280
	樹園地単位 減収総合短縮方式	樹園地単位 減収総合短縮方式	6	171.5	15,829	8,609,000	50,510	34,150	16,360
	半相殺特定 危険方式	減収ひょう害 方式							
	合 計		18	378.0	33,389	20,143,000	148,258	110,618	37,640

（引受概要）

高齢化、後継者不足等厳しい状況の中、半相殺減収総合短縮方式で前年対比3a増加、樹園地単位減収総合短縮方式では引受面積の増減はなかった。

## (被 害)

果樹共済再保険区分		被害組合員数	3割・4割超過 被害面積	認定減収量	共済金	共済金 共済金額
区 分	果樹区分					
半相殺減収総合 短縮方式	半相殺減収総合 短縮方式	人	a	kg	円	%
樹園地単位減収 総合短縮方式	樹園地単位減収 総合短縮方式					
半相殺特定 危険方式	減収ひょう害方式					
合 計		0	0.0	0	0	0.0

## (被害及び評価概況)

被害なし

## (支 払)

果樹共済再保険区分		支払月日	実共 支 済 払 金	共 済 金 支 払 財 源					実支 共済 払金
区 分	果樹区分			保 險 金	手 持 掛 金 額	法 定 積 立 金 額	特 別 積 立 金 額	そ の 他	
半相殺減収総合 短縮方式	半相殺減収総合 短縮方式		円	円	円	円	円	円	%
樹園地単位減収 総合短縮方式	樹園地単位減収 総合短縮方式								
半相殺特定 危険方式	減収ひょう害 方式								
合 計			0	0	0	0	0	0	0.0

## (損害防止)

防除基準に則り徹底防除を推進し、アーデント水和剤、マックス光分解テープを配布する。



## (4) 畑作物共済関係

## (引 受)

年産	畑作物区分		項目	組合員数	引受面積 共済箱数	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) - (B)					
29	茶	半相殺方式	人	38	a	kg	40,658	円	13,750,780	円	283,426	円	220,447	円	62,979
		災害収入共済方式													
		計		38	2,497.8	40,658	13,750,780	283,426	220,447	62,979					
28	茶	半相殺方式		43	2,745.2	44,976	15,707,440	460,795	358,401	102,394					
		災害収入共済方式													
		計		43	2,745.2	44,976	15,707,440	460,795	358,401	102,394					
	大豆	半相殺・一筆		2	1,220.9	8,453	1,573,383	26,906	20,927	5,979					
		全相殺		5	3,943.6	39,979	8,812,115	218,101	169,634	48,467					
		計		7	5,164.5	48,432	10,385,498	245,007	190,561	54,446					
	スイートコーン														
	農作物計			50	7,909.7	93,408	26,092,938	705,802	548,962	156,840					
	蚕繭	春蚕繭		8	箱	18.19	519	1,115,850	2,502	2,002	500				
		初秋蚕繭		3	6.69	180	387,000	4,681	3,744	937					
		晩秋蚕繭		5	10.06	251	539,650	1,512	1,209	303					
蚕繭計			8	34.94	950	2,042,500	8,695	6,955	1,740						
合計			58	7,909.7 34.94	94,358	28,135,438	714,497	555,917	158,580						

(注) 1 この表は、当該年度の引受に係るもののほか、過年度引受に係るものでも、その責任期間が当該年度に及ぶものについて年度別に記載する。

2 「引受面積共済箱数」合計欄は、上段が「農作物合計」下段が「蚕繭合計」を記載する。

## (引受概要)

茶：資源台帳に基づき推進し2,497.8a（前年対比-247.4a）であった。

大豆：営農集団等の作付け計画変更等により、5,164.5a（前年対比-387.7a）となった。

蚕繭：管内資源100%の引受である。

(被害)

項目		被害組合員数	被害面積及び 被害箱数	共済減収量	共済金	共済金額 共済金額
畑作物区分		人	a	kg	円	%
茶	半相殺方式					
	災害収入共済方式					
	計	0	0.0	0	0	
大豆	半相殺・一筆					
	全相殺	3	1,993.9	6,415	741,889	8.4
	計	3	1,993.9	6,415	741,889	7.1
スイートコーン						
農作物計		3	1,993.9	6,415	741,889	2.8
蚕繭	春蚕繭		箱			
	初秋蚕繭					
	晩秋蚕繭					
	蚕繭計	0	0.00	0	0	
合計		3	1,993.9 0.00	6,415	741,889	2.8

(注) 1 災害収入共済方式にあつては「共済減収量」欄に生産金額の減少額(特定畑作物共済限度額—生産金額)を記載する。

2 「被害面積及び被害箱数」合計欄は、上段が「農作物合計」下段が「蚕繭合計」を記載する。

(被害及び評価概況)

大豆 全相殺方式 台風の影響による落花及び圃場滞水による土壌湿潤害

## (支 払)

項目 畑作物区分		支払月日	実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金 %
				保 険 金 円	手持掛金充当額 円	法定積立金充当額 円	特別積立金充当額 円	そ の 他 円	
茶	半 相 殺								
	災 害 収 入								
	計		0	0	0	0	0	0	
大豆	半相殺一筆								
	全 相 殺	H29. 3. 29	741,889	667,700	48,467	25,722			100.0
	計		741,889	667,700	48,467	25,722	0	0	100.0
スイートコーン									
農 作 物 計			741,889	667,700	48,467	25,722	0	0	100.0
蚕 繭	春 蚕 繭								
	初 秋 蚕 繭								
	晩 秋 蚕 繭								
	蚕 繭 計		0	0	0	0	0	0	
合 計			741,889	667,700	48,467	25,722	0	0	100.0

## (損害防止)

大豆：損害防止薬剤費の一部補助、無人ヘリ散布による共同防除費用の一部補助（費用関係は損益計算書明細にゆずる。）。

蚕繭：ホルマリン配付する（費用関係は損益計算書明細にゆずる。）。

## (5) 園芸施設共済関係

(引受)

施設区分		項目	組合 員数	引受棟数	設置面積	共 済 価 額					合 計
						特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内物 撤去費用	
			人	棟	m <sup>2</sup>	千円	千円	千円	千円	千円	千円
ガラス	I 類										0
	II 類	63	114	69,531	657,861	26,562	46,084	584	54,609	2,665	788,365
プラスチック	I 類										0
	II 類	397	1,661	306,151	661,325	20,253	33,153	1,046	13,063	6,277	735,117
	III 類	33	46	39,200	121,978	5,323	6,235		19,494	4,565	157,595
	IV類(甲)	97	125	109,408	461,877	7,048	23,221		38,146	1,581	531,873
	IV類(乙)	91	156	112,843	532,502	10,006	53,237	1,375	50,578	11,328	659,026
	V 類	39	56	27,479	159,303	197	7,729		9,522		176,751
	VI 類	4	8	2,528	5,799						5,799
VII 類	29	51	99,353	41,043						41,043	
合 計		753	2,217	766,493	2,641,688	69,389	169,659	3,005	185,412	26,416	3,095,569

施設区分		項目	共 済 金 額					徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) - (B)	
			特定園芸施設	特定園芸施設 復旧費用	附帯施設	附帯施設 復旧費用	施設内物 撤去費用				合 計
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	円	円	円
ガラス	I 類							0			0
	II 類	526,239	21,247	36,860	467	43,674	2,131	630,618	729,697	586,665	143,032
プラスチック	I 類							0			0
	II 類	528,406	16,141	26,474	830	10,434	4,968	587,253	4,989,276	4,019,152	970,124
	III 類	97,563	4,257	4,986		15,590	3,650	126,046	705,932	568,483	137,449
	IV類(甲)	369,458	5,636	18,574		30,506	1,263	425,437	1,257,296	1,008,174	249,122
	IV類(乙)	425,935	8,002	42,578	1,100	40,448	9,056	527,119	1,249,929	1,002,716	247,213
	V 類	127,420	157	6,182		7,613		141,372	394,406	315,542	78,864
	VI 類	4,633						4,633	49,765	39,807	9,958
VII 類	32,814						32,814	232,199	185,735	46,464	
合 計		2,112,468	55,440	135,654	2,397	148,265	21,068	2,475,292	9,608,500	7,726,274	1,882,226

(引受概要)

資源調査並びに加入推進を行い制度の理解に努めたが、民間保険へ移行が進み加入減少となる。

## (被 害)

項目 施設区分		被 害			損害の額 円	共 済 金					共済金
		組 合 員 数 人	棟 数 棟	附 帯 施 設 数 基		特定園芸施設 円	附 帯 施 設 円	施設内農作物 円	撤去復旧費用 円	合 計 円	共済金額 %
ガラス	I 類									0	0.00
	II 類	1	1		53,970	43,176				43,176	0.01
プラスチック	I 類									0	0.00
	II 類	15	19		1,775,479	391,622			1,025,339	1,416,961	0.24
	III 類	1	1		240,000			192,000		192,000	0.15
	IV類 (甲)	5	5		567,754	113,575		340,626		454,201	0.11
	IV類 (乙)	3	3		833,654			650,922	16,000	666,922	0.13
	V 類									0	0.00
	VI 類									0	0.00
VII 類									0	0.00	
合 計		25	29	0	3,470,857	548,373	0	1,183,548	1,041,339	2,773,260	0.11

## (被害及び評価概況)

27年1月18日の降雪により被害を受けたハウスの復旧。4月11日(突風)・8月22日(台風)など被覆物に風害の被害を受けるが少額の被害で済むなど全体的に被害は少なかった。

## (支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 金
	保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	共済金
円	円	円	円	円	円	%
2,773,260	2,495,928	277,332				100.0

## (損害防止)

飛翔害虫誘引捕殺テープを配布(費用関係は損益計算書明細にゆずる。)

(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引受関係)

区分 \ 項目	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金			1棟当たり平均 共済金額
			純共済掛金	組合事務費	連合会事務費	
火災共済	棟 52,890	円 635,812,950,000	円 302,868,687	円 202,980,011	円 44,331,192	円 12,020,000
総合共済	5,051	21,765,950,000	34,558,821	22,823,172	5,017,949	4,310,000
合計	57,941	657,578,900,000	337,427,508	225,803,183	49,349,141	11,350,000

(引受概要)

地区別に推進会議を開催し、基礎組織の協力を得ながら一斉推進、又職員同行推進を行い加入資格要件の確認、掛金の現金納入原則禁止を説明し、補償の充実に努めた。

(事故関係)

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金(ロ)		被害率 (ロ)/(イ)	備考
		火 災	風 水 害 等		
棟 109	千円 1,817,700,000	円 157,512,071	円 5,512,658	% 8.97	

(事故概況)

全焼、原因不明の火災、類焼、落雷、盗難による毀損、汚損、台風の影響による風水害等により損害を受ける。

2 農機具損害共済

(引受)

加入台数	共済金額	共 済 掛 金			1台あたり平均 共済金額
		純共済掛金	組合事務費	連合会事務費	
3,595 台	4,845,850,000 円	15,449,992 円	5,753,612 円	2,462,376 円	1,350,000 円

(引受概要)

職員による戸別推進と農機具販売店の情報提供により、引受の向上と補償の充実に努めた。

(事 故)

事 故 台 数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)	被 害 率 (ロ)/(イ)	備 考
58 台	143,300,000 円	17,769,026 円	12.40 %	

(事故概況)

農作業中の衝突、接触、異物の巻き込み等の事故により損害を受ける。

(7) 農機具更新共済関係

(引受)

加入台数	共 済 金 額	減価共済金額	共 済 掛 金		
			純共済掛金	組合事務費	連合会事務費
236 台	231,750,000 円	188,550,000 円	33,353,565 円	648,900 円	278,100 円

(引受概要)

農機具損害共済に移行加入により毎年減少傾向にある。

(事 故)

事 故 台 数	期間満了等台数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金			被 害 率 (ロ)/(イ)
			火災・風水害等(ロ)	期間満了によるもの	計	
1 台	81 台	1,000,000 円	181,226 円	47,100,000 円	47,281,226 円	18.12 %

(事故概況)

農作業中の墜落事故により損害を受ける。又、責任期間満了により減価共済金の支払があった。

## (8) 業務関係

## ア 重要な処理事項

年	月	日	処 理 事 項
平成28年	4	1	平成28年度職員辞令交付
	4	22	監事会・決算監査
	5	6	理事会・余裕金運用管理委員会
	5	20	第14回通常総代会（於：川越市農業ふれあいセンター）、役員選出基準案検討委員会（第1回）
	5	26	麦類作柄巡回調査
	6	1	平成28年度 市町補助金申請（管内35市町）
	6	3～	共済支部長・損害評価員講習会、事業推進会議（川越支所、東松山支所、上尾支所管内）
	6	10	埼玉県農業共済組合合併推進協議会（第9回）
	6	20	役員選出基準案検討委員会（第2回）
	7	5	合併3組合及び連合会財務調査
	7	11～13	合併3組合及び連合会財務調査現地確認
	7	19	役員選出基準案検討委員会（第3回）、余裕金運用管理委員会
	8	3	埼玉県農業共済組合合併推進協議会（第10回）
	8	5	水稻高温障害対策会議
	8	19	理事会、コンプライアンス改善委員会、役職員コンプライアンス研修会
	8	26	埼玉県農業共済組合設立のための覚書の締結
	8	29	損害評価会（麦・蚕繭）当初評価高
	9	8	水稻・大豆作柄巡回調査
	9	20	合併予備契約書調印式
	10	5	埼玉県農業共済組合合併推進協議会（第11回）
	10	6	理事会・余裕金運用管理委員会
	10	21	臨時総代会（於：川越市農業ふれあいセンター）合併決議
	10	26	監事会・中間監査
	11	14	埼玉県農業共済組合合併推進協議会（第12回）、埼玉県農業共済組合設立委員会（第1回）
	11	21	NOSA I 事業推進会議（全国大会）
	11	30	損害評価会（水稻・麦・蚕繭）当初評価高
	12	6～	常例検査（本所12/6・7 上尾支所12/13 東松山支所12/15）
	12	9	理事会
	12	21	埼玉県農業共済組合設立委員会（第2回）
平成29年	1	23	埼玉県農業共済組合設立委員会（第3回）
	2	2	埼玉県農業共済組合設立委員会（第4回）
	2	16	理事会
	2	21	新組合損害評価会代表委員選出会議
	2	22	埼玉県農業共済組合設立委員会（第5回）、新組合仮役員会（第1回）
	2	23	平成29年度賦課承認事前審査会及び運営状況ヒアリング
	2	28	臨時総代会
	3	1	損害評価会 畑作物部会
	3	3	埼玉県農業共済組合設立委員会（第6回）
	3	4	クリーンロード実施（比企広域農道他）
	3	8	コンプライアンス改善委員会、余裕金運用管理委員会
	3	9	合併認可申請書提出
	3	14	新組合仮役員会（第2回）
	3	17	理事会
	3	21	合併認可
	3	31	退職辞令交付



イ 総代会

(ア) 通常総会

(平成28年5月20日)

総代会日現在総代数	(A)	127人	出席率
本人出席	(B)	79人	(B/A 62.2%)
代理出席		一人	
書面出席		44人	
出席者計	(C)	123人	(C/A 96.9%)
重要な議事及び議決事項			
第1号議案	平成27年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分（不足金処理）案の承認について		
第2号議案	平成28年度事業計画設定並びに事務費賦課額及び徴収方法の承認について		
第3号議案	農業共済組合共済規程の一部改正承認について		
第4号議案	役員等報酬の承認について		
第5号議案	余裕金預入先金融機関の承認について		
第6号議案	借入金限度額の承認について		
第7号議案	損害評価会委員補欠選任の承認について		

(イ) 臨時総代会

(平成28年10月21日)

総代会日現在総代数	(A)	126人	出席率
本人出席	(B)	76人	(B/A 60.3%)
代理出席		一人	
書面出席		46人	
出席者計	(C)	122人	(C/A 96.8%)
重要な議事及び議決事項			
第1号議案	合併の議決について		
第2号議案	合併予備契約書の承認について		
第3号議案	埼玉県農業共済組合設立委員会規約（案）の承認及び設立委員の選任について		

(ウ) 臨時総代会

(平成29年2月28日)

総代会日現在総代数	(A)	126人	出席率
本人出席	(B)	9人	(B/A 7.1%)
代理出席		一人	
書面出席		117人	
出席者計	(C)	126人	(C/A 100.0%)
重要な議事及び議決事項			
第1号議案	農業共済組合共済規程の一部改正（案）の承認について		
第2号議案	平成29年度家畜危険段階共済掛金率の設定について		

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減 ( △ )	摘 要
37,120 <sup>人</sup>	34,925 <sup>人</sup>	△ 2,195 <sup>人</sup>	

エ 役職員その他

(ア) 役 職 員

役員数	理 事					監 事			合 計	
	常 勤	非 常 勤		計		3人			26人	
	0人	23人		23人						
職員数	本 所					川越支所	東松山支所	上尾支所	計	
	参 事	総務課	農産課	果樹園芸課	家畜任意課					
	男	1人	6人	5人	6人	5人	兼務 17人	10人	10人	43人
	女	0人	3人	2人	0人	2人	兼務 5人	1人	1人	9人
	計	1人	9人	7人	6人	7人	兼務 22人	11人	11人	52人

(イ) 総代、共済支部長、損害評価会委員、損害評価員

総 代	共 済 支 部 長	損 害 評 価 会 委 員	損 害 評 価 員
126 <sup>人</sup>	2,127 <sup>人</sup>	51 <sup>人</sup>	840 <sup>人</sup>